

事務事業 No./名称	■サービス部門 経企-20 川喜多映画記念館管理運営事業 □支援部門		
主管課	文化人権推進課	関連課	
分野名	文化		
目標 (目標値)	映画及び映像文化の記念館として、施設の適正な管理運営を図る。 年間25,500人		

人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備 考	
	人 口	177,895人	177,224人	177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯		
	事業の対象者数	22572人	22034人	18965人		
決算値(千円)	33,667	34,528	34,884			
運営資源状況	(国・県)					
	(負担金等)	4	2	2		
	(一般財源)	33,663	34,526	34,882		
	人員配置数	0.6人	0.6人	0.6人		
	人件費(千円)	4,617	4,807	5,256		
	協働のパートナー					
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	38,284	39,335	40,140		
	市民1人当りの経費(円)	215	222	227		
	対象者1人当りの経費(円)	1,696	1,785	2,117		

ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒									

指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
来場者数	○	目標値	来場者を1日あたり60人、年間15,600人	来場者数を1日あたり70人、年間18,200人	来場者数を1日あたり80人、年間20,800人	来場者数を1日あたり82人、年間22,600人	来場者数を1日あたり85人、年間25,500人
		実績値	来場者 1日あたり75人、年間22,220人	来場者数 1日あたり64人、年間18,965人	来場者数 1日あたり73人、年間22,034人	来場者数 1日あたり76人、年間 22,572 人	
			◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止				
川喜多映画記念館管理運営事業	33,667	川喜多映画記念館等管理運営事業の一部	36,643	今後の方向性	B	理由・手法	・展示、映画上映、その他事業の更なる充実を図るため、様々な意見を聞きながら指定管理者と協議し、企画検討を進めていく。 ・施設の管理運営の効率化、事業の充実を図るため、旧和辻邸との一体管理、事業企画への市民参加方法等を検討する。	
				今後の方向性		理由・手法		
				今後の方向性		理由・手法		
				今後の方向性		理由・手法		
				今後の方向性		理由・手法		

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・展示企画や映画上映の更なる充実を図ることで来館者を増やす必要がある。 ・鎌倉の映画文化発信の拠点として、様々な市民の意見を聞きながら企画検討を進める必要がある。										
課題解決のための取組	・上質な映画上映、企画展、講演等を実施した。特に展示に関連した評価の高い作品の上映回数を増やすことで、来館者を増やすことができた。 ・市民意見を企画、上映作品の参考にするため、計画的にアンケートを実施した。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	・展示スペース等、施設としての制約がある中、今後も事業の更なる充実を図るとともに、来館者増を図る必要がある。 ・鎌倉から映画文化を発信する拠点として、市民が企画段階から参加できる事業の実施など、鎌倉独自の事業が求められている。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	・展示、映画上映、その他事業の更なる充実を図るため、様々な意見を聞きながら指定管理者と協議し、企画検討を進めていく。 ・施設の管理運営の効率化、事業の充実を図るため、旧和辻邸との一体管理、事業企画への市民参加方法等を検討する。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	➡	B	
※□事業完了											

評価者名

文化人権推進課長

春日 和美

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
川喜多映画記念館管理運営事業	指定管理者による施設の管理運営を実施するとともに、施設の維持に必要な修繕を行った。				○	○	○	○	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1397	消耗品費	5	5	○	○	○	○
		1397	門扉修繕料	50	48	○	○	○	○
	1398	指定管理料	34,320	33,462	○	○	○	○	
	1397	指定管理者リスク分担金	3	152	○	○	○	○	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								